

原中誠志



2021年4月15日 服部知事初登庁

「新型コロナウイルス感染症」拡大防止対策、近年相次ぐ自然災害への対応、地域経済の再生と振興など、県政の重要課題への早急な対応を期待します。

服部誠太郎知事誕生!



2020年3月『2月県議会』
当時、副知事として小川知事を支えておられました。



本年4月11日施行の福岡県知事選挙は、服部誠太郎氏が初当選を果たしました。本県においては、県職員出身の知事は初めてとなります。44年に亘る県庁職員、9年半の副知事の経験を活かし、「即戦力」として大きな期待がかかっています。

今日、県政の喫緊の課題は「新型コロナウイルス感染症」危機を乗り越え、県民が安心して生活できる社会を取り戻すことにあります。そのため、感染防止対策の強化、病床の更なる確保、ワクチンの円滑な接種。加えて、コロナ禍により大きな打撃を受けている地域経済の再生のため、必要な支援を間髪入れず投入し、活性化と振興を図らなければなりません。

服部知事は「新しい時代の県政を進めるにあたり、①次代を担う人財の育成成、②世界に勝負できる、世界から選ばれる福岡県の実現、③ワンヘルスの推進の3つに挑戦する。このような取り組みを進めていくため、県議会や市町村と連携し、ともに手を携えて福岡県の未来への扉を開いていく。」と呼びかけています。県議会と県行政は「車の両輪」と例えられます。

服部知事の呼びかけにしっかり応えるとともに、議会の場では真摯な討論を行って参ります。